

=====
◇植物ストレス科学研究ネットワークメールマガジン vol. 180 ◇

2025年7月11日号(第180号)

-----◆◆ INDEX ◆◆-----

1. 岡山大学研究設備機器共用システム（CFPOU）について
2. 大原サマーサイエンスインターンシップ（OSSI）についてのお知らせ
3. 大学院進学説明会（オンライン開催）のお知らせ
4. 最近の研究成果について
5. 投稿のお願い
6. 編集後記

-----◆◆◆◆-----

1. 岡山大学研究設備機器共用システム（CFPOU）について
岡山大学資源植物科学研究所は、2010年4月より「植物遺伝資源・ストレス科学研究」の共同利用・共同研究拠点となり、公募型の共同研究を開始しました。本年度も50件を超える植物の遺伝資源または植物のストレス科学等に関する共同研究が実施されています。メールマガジンをお読みのみなさまの中にも利用したことがある方がいらっしゃると思いますが、共同研究に使われる大型機器は、所内の共通機器として技術職員が中心に機器の管理をおこなっており、拠点共同研究により様々な研究成果があげられています。本年度は、複数の共通機器が更新され、さらに新規導入も予定されています。次号のメールマガジンからは本年度導入される共通機器についてシリーズものとして情報発信していきます。これらの機器は、皆様の研究活動を力強くサポートするものとなると思いますので、ぜひ積極的にご活用いただきたいと思います。

共通機器と言えば、2020年に文部科学省の研究基盤共用促進事業（コアファシリティ構築プログラム）が始まり、全国的にも研究機器の共用化が進んでいますよね。それに合わせて、岡山大学でも研究設備機器共通システムが構築されました。今回のメールマガジンでは、岡山大学コアファシリティポータルサイト（CFPOU）について少し紹介させてください。CFPOUには当研究所の共通機器はもちろん、岡山大学の共用可能な機器が全て登録されています。学内の研究者に限らず、他大学や研究機関の方、企業の方も利用することができます。本年度、当研究所に導入される共通機器も順次登録される予定です。ご自身の研究に役立つ機器があるかどうか、検索してみてはいかがでしょうか？詳しくは以下のWebページをご参照ください。

<https://corefacility-potal.fsp.okayama-u.ac.jp/>

2. 大原サマーサイエンスインターンシップ（OSSI）についてのお知らせ

毎年夏に開催される学部生向け研究体験企画、OSSI（Ohara Summer Science Internship）ですが、昨年は残念ながら台風で中止となりました。そこで、本年度は台風シーズンを避け、8月（Summer）ではなく2月（Spring）の開催を予定しております。9月に入りましたら詳細について案内させていただきます。しばらくお待ちください。

3. 大学院進学説明会（オンライン開催）のお知らせ

岡山大学資源植物科学研究所では、大学院進学を検討されている皆様を対象に、オンライン大学院説明会を開催します。受験を考えている方も迷っている方も気軽にご参加ください。

参加を希望される方には事前申し込みをお願いしております。
申し込み締め切りは、7月31日（木）です。

【日時】

2025年8月7日（木） 13:00～17:00頃
2025年8月8日（金） 13:00～17:00頃

詳細および申し込みは以下のウェブページをご確認ください。

https://www.rib.okayama-u.ac.jp/grdsh/Daigakuin_J/setsumeikai.html

4. 最近の研究成果について

Nagaki, K., Ushijima, K., Akagi, T., Tanaka, K., Kobayashi, H.

Pancentromere analysis of *Allium* species reveals diverse centromere positions in onion and gigantic centromeres in garlic.

The Plant cell, koaf142 (2025)

Doi.org/10.1093/plcell/koaf142

Kuhn, J. H., Adkins, S., Alkhovsky S. V., An, W., Avsic-Zupanc, T., et al.

Annual (2024) taxonomic update of RNA-directed RNA polymerase-encoding negative-sense RNA viruses (realm Riboviria: kingdom Orthornavirae: phylum Negarnaviricota).

The Journal of general virology,

106(6):10.1099/jgv.0.002077 (2025)

Doi.org/10.1099/jgv.0.002077

Wang, M., Wang, Y., Peng, J., Yu, Y., Wen, T., Liu, Z., Qi, Z., Zhang, X., He, S., Fang, Z., Ma, J., Gong, J. OsNIP3;1 mediates diurnal boron oscillation at rice vasculature tip.

The New phytologist, 10.1111/nph.70201 (2025)

Doi.org/10.1111/nph.70201

5. 投稿のお願い

本メールマガジンや Web サイトでは、植物ストレス科学の研究成果や研究に関する情報の共有を目指しています。

(<https://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/>)

PSSNet メンバーの皆様の最新の論文、関連集会やセミナーの案内、人材募集などの共有可能な情報の投稿をお待ちしております。

ご希望の方は、pssnet-admin@okayama-u.ac.jp 宛に情報をお送りください。

また、メーリングリストへの情報提供も隨時受け付けております。セミナーや講演会の開催など、お急ぎの情報は下記宛てにお送り下さい。

pssnetml@okayama-u.ac.jp

*お送り頂く際には、PSSNetに登録しているメールアドレスからお願い致します。

6. 編集後記

毎日暑い日が続きますね。毎年夏の挨拶のように言っている言葉ですが、年々と口にする時期が早くなっている気がします。気象庁は、先月27日、「中国地方と四国地方が梅雨明けしたとみられる」と発表しました。毎年、梅雨明けの時期を意識しているわけではない私でも、「もう梅雨明けたの?」とびっくりしました。中国地方では平年より22日、去年より24日早く、四国地方は平年より20日、去年より20日早い梅雨明けだということです。また、ともに統計を始めた1951年以降、最も早い梅雨明けで、6月中としては観測史上初めてだそうです。「観測史上初めて」という言葉も最近よく耳にするうれしくない言葉ですよね。

本当に昨年よりも暑いのかを確認するために、昨年と今年の岡山地方の6月の天気を調べてみました。その結果、昨年は気温が30°C以上の日が8日だったのに対し、今年は30°C以上の日が14日もあり、さらに35°C以上の猛暑日も3日あり（昨年は6月に猛暑日はなし）、異常な天気が続いていることがわかりました。実際、気象庁の発表によると、岡山だけでなく、日本の月平均気温も、これまでに最も高かった2020年を上回り、統計を開始した1898年以降の6月として1位の高温となったそうです。昨年9月のメールマガジンで、「7月には、世界全体の一日の平均気温も過去最高を記録した」と書きましたが、今年もアメリカやヨーロッパでも6月から猛暑が観測されており、記録がまた更新されてしまうかもしれませんね。

この先も平年より高い気温が続くと予想されていますので、みなさまも熱中症にはお気をつけください。

「植物ストレス科学研究ネットワークメールマガジン」

■発行日 2025年7月11日

■発行元 岡山大学資源植物科学研究所

植物ストレス科学研究ネットワーク (PSSNet) 委員会

■WEB サイト <https://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/>

メールマガジン登録変更・解除の手続きは

<https://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/Registermember.htm>

でお願いします。

(このメールは岡山大学職員が配信しています)

pssnetml mailing list

pssnetml@okayama-u.ac.jp